

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

図書館という言葉から皆さんはどのようなイメージをもたれますか？難しい専門書や文学全集などが書棚にずらりと並んでいる所、読書の好きな人や学問好きの人が利用する所、静かにしないといけない堅苦しい所、といった一昔二昔前の図書館をイメージされる方の中にはいらっしやるのではないのでしょうか。

図書館ほど利用されたことがある方とそうでない方との印象が大きく違う施設はないように思います。恥ずかし

ながら、私も図書館に勤めるまでは、自分には場違いな所といった印象を少なからずもっておりまして。しかし、図書館に来てその印象は一変しました。専門書や文学全集なども置かれていますが、最も目を引く場所に数多く並べられているのは、日々の生活に役立つ実用書、小説、雑誌、それに絵本や児童書などです。実に、これらの本が図書館の本の九十七パーセントを占めています。特に、実用書は多可町図書館だけを取り上げても、ありとあらゆる分野の本が約四万二千冊も揃っています。本のタイトルを見るだけで興味をそそられ、手にとって本を開いてみようという気にさせてくれます。それに

「図書館は興味をそそる玉手箱」 多可町図書館長 藤田 喜晴



こと は 言の葉だより

物語を生きるように自分の人生を生きる

上橋菜穂子 編

作家であると同時に文化人類学者でもある上橋さんは、2014 年国際アンデルセン賞・作家賞を受賞しました。この賞を日本人作家が受賞するのは2人目で、まど・みちおさん以来20年ぶりのことだそうです。では、上橋さんとはいったいどんな人物なのでしょう。

幼い頃、体が弱く病気がちだった上橋さんは、たくさんの昔話を父方の祖母から聞いて育ちます。おばあさんはとてもおはなしの上手な人だったそうで、「次はどうなるんだろう？」とワクワクしながら、物語を想像する楽しさをこの頃知ったと言います。そして、いつか自分でも物語を書いてみたいと夢見るのでした。

そんな上橋さん、歴史にも興味があり、立教大学史学科へと進学。文化人類学に心惹かれ、沖縄やオーストラリアへとフィールドワークにでかけるようになります。同時に、作家への夢も捨てきれず、大学院修士課程の時、はじめて出版社に原稿を送ります。ところが、1年以上たっても何の連絡もなく、作家になる夢はあきらめようと思しますが、その矢先、運命のハガキが舞い込みます。そう、念願の作家デビュー、上橋さん27歳のことでした。

体が弱かった上橋さんにはずっと「強さ」に対する憧れがあり、それが『獣の奏者』や『精霊の守り人』などの作品の登場人物に強く反映されています。その憧れる力が物語の原動力となり、また、アボリジニ研究者ならではの視線で紡いだ言葉の重みが物語を支えています。

さあ、上橋ワールドを楽しんでみませんか。

【豆知識】国際アンデルセン賞とは・・・

長らく子どもの本に貢献したと認められる、現存する作家および画家の全業績に対し2年に1度おこなわれる賞。小さなノーベル賞ともいわれている。日本人画家では赤羽末吉や安野光雅がいる。



ふくちゃんのウインク

あたたかい季節になってきました。昨年12月に作成した読書手帳も大変好評で、3月5日にはラジオ関西にも取り上げられ、放送していただきました♪

多くの方にご利用いただいている図書館。今年の5月頃には貸出冊数が200万冊に達成する予定です。その際、何かワクワクする企画ができればと考えています。(け)

【こたえ】 I・・・① II・・・③ III・・・③ IV・・・① V・・・②

もちろん、物語に書くことすべてを体験するわけにはいきませんが、私は、肝心なところは、できるだけ自分の経験に裏打ちされた言葉で書きたいなあ、と思っています。そうすることで、物語の中に本物の風が吹く。そんな気がするからです。

— 『物語ること、生きること』より —

上橋菜穂子さんに関するクイズです。

- I. 10代の頃、いちばんなりたかった職業は？
①漫画家 ②格闘家 ③デザイナー ④獣医
- II. 小学生の頃にあこがれた人物は？
①ナイチンゲール ②ジャンヌ・ダルク
③キュリー夫人 ④マザー・テレサ
- III. 高校時代の英国研修旅行で、ある児童文学作家と出会うことが出来ました。それは誰？
①アーサー・ランサム ②フィリパ・ピアス
③ルーシー・M・ボストン ④ローズマリ・サトクリフ
- IV. 2016年にNHKで実写化される予定の『精霊の守り人』で主演を演じるのは誰？
①綾瀬はるか ②堀北真希 ③井上真央 ④杏
- V. 女優をしている中学高校時代の同級生は誰？
①小林聡美 ②片桐はいり
③高木美保 ④香坂みゆき

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『物語ること、生きること』講談社、『考える人』2014年春号、『MOE』2014年8月号、『明日は、いずこの空の下』講談社

H26年度 利用状況(2月末現在)

蔵書冊数：153,376冊

多可：115,612冊

加美：19,958冊

八千代：17,806冊

個人登録者数：9,854人

総利用者数：28,688人

多可：20,194人

加美：4,172人

八千代：4,322人

総貸出冊数：146,519冊

多可：107,080冊

加美：19,409冊

八千代：20,030冊

貸出密度

(貸出冊数÷自治体人口)：6.5冊

かるた会&百人一首に挑戦!!

1月10日

毎年恒例の「かるた会」を開催し、小学4～6年生は百人一首に、小学3年生以下がいろはかるたにそれぞれ挑戦しました。

百人一首では、句を暗記している上級者やこの日が初めてという初心者もいましたが、みんな真剣勝負。藤田図書館長がゆっくりと句を読み上げると、座布団に座った子どもたちは、頭を突き合わせて、勢いよく札を取り合い、熱戦を繰り広げました。

いろはかるたでは、読み上げられた札のひらがなを、一生懸命に探す子どもたち。みつかり「はい!」と元気よくかるたを取り、嬉しそうに笑顔を見せていました。



さて、みんなは何枚取れたかな。



図書館 NEWS

— 1~3月 —

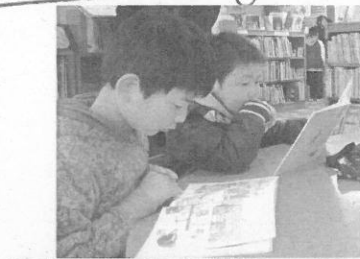
図書館見学

2月26日



八千代北小学校の1・2年生が図書館見学に訪れました。おはなし会、館内見学のあと、1人5冊をめどにそれぞれ本を探し出し、自分の図書館カードで貸出手続きを体験しました。

自分が借りた本の書名が記されたラベルシールも受取って持ち帰りました。読書手帳も楽しんで活用しているようです♪



「2015 年本屋大賞」ノミネート作品

全国書店員が選んだ いちばん! 売りたい本 本屋大賞 2015 年のノミネート作品が発表されました! こちらの作品の中から大賞作品が選出されます。

◆『アイネクライネナハトムジーク』㊤

伊坂幸太郎／著 幻冬舎 (Fイサ)

◇『怒り』上下 (Fヨシ) ㊤

吉田修一／著 中央公論新社

◆『億男』(Fカワ) ㊤

川村元気／著 マガジンハウス

◇『サラバ!』上下 ㊤

西加奈子／著 小学館 (Fニシ)

◆『キャプテンサンダーボルト』㊤

阿部和重・伊坂幸太郎／著

文藝春秋 (Fアヘ)



売りたい本
いちばん!

2015 年本屋大賞

発表予定は
4月7日 (火)
です。

◇『鹿の王』上下 (Fウエ) ㊤

上橋菜穂子／著 KADOKAWA

◆『土漠の花』(Fツキ) ㊤

月村了衛／著 幻冬舎

◇『ハケンアニメ』(Fツシ) ㊤

辻村深月／著 マガジンハウス

◆『本屋さんのダイアナ』㊤

柚木麻子／著 新潮社 (Fユス)

◇『満願』㊤

米澤穂信／著 新潮社 (Fヨネ)

最近、
何かと話題の
こんな本・
あんな本

サラダを瓶詰にして作り置きする「ジャーサラダ」、その名ももちろんにぎらないおにぎり「おにぎらず」、さらに反抗期の娘に作り続けた愛情ある「嫌がらせ弁当」

ジャーで楽しむ
毎日のサラダ

おにぎらず
アイデア帳

経済専門書にしては異例のベストセラー、トマ・ピケティ／著
『21 世紀の資本』 まずはという人には入門書からどうぞ



その他、『後妻業』『フランス人は10着しか服を持たない』『男の子の本当に響く叱り方ほめ方』などなど

Book menu



樋口卓治／著

出版社: 講談社

ジャンル: 小説

(F ヒク)

3 日前にすい臓ガンのために45歳の若さでこの世を去った三村修治は、この世とあの世との狭間にある天国ステーションで、天国へ行けるかどうかの審査を受けることになりました。天国へ行けるかどうかは、生前に積んだ善行や笑った回数で貯まる「天国マイレージ」のマイル数で決まります。審査の結果、修治は天国行きに必要な3万マイルをクリアしてしまいました。しかし、人は1回笑うごとに0.1マイル貯まることを知った修治は、天国行きを中止し、貯めたマイルを全て使って6日間だけこの世に戻ることを決意しました。それは、息子陽一郎の笑顔を見たことがない修治にとって、何としても息子に笑うコツを教える、この世に残した未練を断ち切るためなのです。笑い涙の感動小説はいかがでしょうか。(よ)



出版社:

バイインターナショナル

ジャンル: 実用書

(527ア)

世界にはさまざまな建築物があります。直線的、流線形、未来的、歴史を感じるもの、あなたはどんな住まいに憧れますか? 紹介されている集合住宅はどれも個性豊かで、ページをめくるだけでも楽しめます。表紙の写真は、オランダの住宅街にたえず高齢者用の集合住宅。カラフルなバルコニーのリズミカルな配置が個性にあふれて、目を奪われますが、不思議と街に馴染んでいるようです。このほか、SF映画に登場しそうなねじれた形の超高層マンション、キノコのような球形の住宅、港には景観に合わせたクレートンを模したビル群、波打つ形のリゾートマンションなど107の建築物が紹介されています。あなたのお気に入りの住まいをみつけてください。(か)



アンソニー・フランス／さく
ティファニー・ビー・ク／え

出版社: 理論社

ジャンル: 絵本 (Eヒ)

何日もバジャマのままでだらだらと過ごしていたクマネズミのもとに、ある日一通の手紙が届きます。その手紙には「きみはたいせつなたいせつなともだち。それをつたえて、てがみをかきました。」と書かれています。しかし肝心の差出人の名前がありません。この素敵な手紙をいつたい誰が送ってくれたのか知りたくなったクマネズミは、大急ぎで身支度を整えて、次々に友だちを訪ねてまわります。そして、久しぶりにみんなに出会ううち、差出人が誰であるかよりもっと大切なことに気付くのです。

子どもたちだけでなく、一歩踏み出せずにいる大人の方にもぜひ読んでほしい一冊です。(な)

『世界の夢の集合住宅』

『ともだちからともだちへ』

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

「岐路の一節」

多可赤十字病院
院長 松浦尊磨 たかまろ

「私と本」と題して書くよう依頼を受けたが、読書について、あまり持論を持ち合わせず、あれこれ述べることは、いささか心苦しく感じている。私は元来、目的の本を購入すると多くの場合、自分の興味をひく目次を探し、そこを一気に読む。そして、共鳴する文に乱雑に線を引き、折り目を付ける。乱暴な読み方である。丁寧に読まなければならない図書館の本は迷惑がかかるので借りられない。若いときは、誰しも一時期、解りもしないような難解な本を読みたがる傾

向があるが、私も同様にほとんど理解できない内容のものを読みあさり、解ったようなつもりになったりした。それが、なにがしかのたまたまになったかは、はなはだ疑問である。それでも、ひとつだけ、これまで岐路に立ち決断を要するときに、いつも思い起こす一節がある。阿部次郎の『三太郎の日記』。古文体のなんとも読みにくい本だったが、その「別れの時」の章。

——「別れの時」の悲哀を伴わざる革命と進歩とは虚偽か誇張か銜耀か、いずれにしても内的必然を欠く浮気の沙汰とよりは思い難いのである。(中略)進む者は別れなければならぬ。しかも人が自ら進まんがために別離を告ぐるを要するところは、(中略)かつて自分にとって生命のごとく貴く、恋人のごとくなつかしかったものでなければならぬ。およそ進歩はただ別るるをあえてし、棄て去るをあえてする点においてのみ可能である。(中略)真正に進化する者にどうして「別れの時」の悲哀なきを得よう。思えばかくのごとくにして進化する人間の運命は悲しい。「別れの時」の悲哀に堪えぬために進化を拒み過去の生命に執着する卑怯未練の魂も、その情愛のこまやかに心情の柔かなる点を察すれば、また、憎くないと言わなければならぬ。——折に触れ、この一節を思い起こしながら歩んできたように思う。



ことばの葉だより

絵本を通して子どもたちに
幸せやあたたかさを手渡したい

ディック・ブルーナ 編



「わたしの線は、いつもすこし震えています。まるで心臓の鼓動のように。震える線はわたしの個性なのです。」

— 『ディック・ブルーナのデザイン』より —

ミッフィーは60年前にオランダで生まれました。ブルーナが描いた最初のミッフィーは、色も形も今とは少し違う表情で、この小さなうさぎの女の子を絵本にするために、ブルーナは試行錯誤を繰り返し、8年後ようやく今のデザインとなったそうです。

さて、ミッフィーの生みの親、ブルーナさんってどんな人物なのでしょう。偶然にもうさぎ年の1927年8月に生をうけたブルーナさんは、曾祖父の代から続く出版社を継ぐべく育てられ、24歳の時、グラフィックデザイナーとして父の会社に就職します。そこで数々のデザインを手がけ、48歳の時、自分の創作に打ち込むべくついに独立したのでした。

ミッフィーの誕生は、昼間に海でうさぎと遊んだ息子さんから、夜、「うさぎのはなしが聞きたい」とねだられたのがきっかけだったそうで、それが『うさこちゃんとうみ』のもとになっているそうです。

絵本作りにおいての特色は、1ページに載せる文章は4行だけで、かつ韻を踏んでいることから、心地よいリズムがつくりあげられています。また、すべての物語が途中でどんなことがあっても最後はハッピーエンドで終わっているということです。これは本を読み終えた子どもの心に何とも言えないあたたかさ、幸せな気持ちをプレゼントしたいというブルーナさんの思いだそうです。

今年は全国各地でミッフィー展が予定されています。まずは、みじかな図書館で絵本を手にとってみませんか。



ふくちゃんのウインク

今年の図書館まつりでは初めての試みとしてハードカバー教室、オープンカフェを実施しました。ハードカバー教室では2時間という限られた時間の中オンラインの本が出来上がり、みなさんに大変満足していただきました。

またオープンカフェも天候に恵まれ、コーヒーと出来立て焼きドーナツをほおばりながらゆったりとした時間を過ごしていただけたようです(け)

【こたえ】 I・・・③ II・・・④
III・・・① IV・・・② V・・・①

ブルーナ&ミッフィーに関するクイズです。

I. ブルーナカラーと呼ばれる6色は赤・青・黄・緑・茶色とあと一色は何？

①ピンク ②オレンジ ③グレー ④パープル

II. ブルーナさんがモデルのキャラクターは？

①こねこのねる ②コアラのコー
③こいぬのくんくん ④くまのボリス

III. ブルーナさんが影響を受けた画家は？

①マティス ②ピカソ
③フェルメール ④喜多川歌麿

IV. オランダ語版の絵本ではミッフィーではなく別の呼び方になっています。どんな名前？

①ラビー ②ナインチェ ③ラパン ④レプレ

V. ミッフィーの誕生日はいつ？

①6月21日 ②7月21日
③8月21日 ④9月21日

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】 『ディック・ブルーナ』(講談社)、
『ディック・ブルーナのデザイン』(新潮社)、
『ディック・ブルーナさんの絵本のつくりにかた』(美術出版社)、
『別冊太陽 海外の絵本作家たち』(平凡社)、
『MOE2015年5月号』

～ ご寄贈いただきました ～

☆ボーイスカウト多可第1団

団の解団にあたり、団が管理しておられた残金を多可町の青少年健全育成に役立てて欲しいと、青少年向けの図書購入費として図書館にご寄付いただき、145冊の本を購入させていただきました。



☆書家 江口大象 氏

多可町内にある寺院に利休屏風や山號額、漢詩など多数書を寄せられている江口大象さんから多数の書籍をご寄贈いただきました。



いずれも特設コーナーにて展示。多くの方にご利用いただきました。今後も引き続き大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

貸出冊数200万冊
利用者数35万人通過 記念講演会

5月17日

貸出冊数200万冊・利用者数35万人通過記念事業として多可赤十字病院長の松浦尊磨先生を講師に迎えて「地域包括ケアをめざした歩み」と題した講演会を開催しました。講演では、院長先生の生い立ちや奥様との出会いなどの楽しいエピソードを所々に交えながら、高齢者が安心して地域で暮らせる基盤を地域で作っていく重要性について分かりやすく語られました。

トライやるウィーク 6月3～7日



今年は3名の中学生が図書館業務を体験しました。貸出・返却業務はもちろんのこと、その他、日頃目にするものの少ない業務や図書館まつりの準備など、この期間中、積極的に活動してくれました。



特別おはなし会 5月23日

4/27～5/10は「こどもの読書週間」です。毎年おすすめ図書の展示をしたり、おはなし会を行っています。今年は5月23日に、大型絵本やパネルシアターなどを使った特別おはなし会を実施しました。

終了後は今年の標語「本はキラキラ万華鏡」にちなんで手作り万華鏡をプレゼントしました。



どんな模様が
見えたかな。



学校・園の来館

4月17日には中町南小の1年生が遠足の途中に、6月11日には四恩こども園の5歳児が、さらに6月19日には八千代区内の3年生が町内にある施設見学の 일환として図書館に来館。

どんどん図書館を利用してくださいね。お待ちしております。



本と人とまち、出会いがいっぱい

第12回 図書館まつり



オープンカフェ

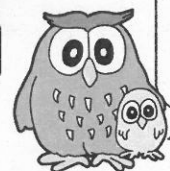
特産品販売



ミニ縁日



朗読会



今年もたくさんの方に
ご来館いただきました。
ありがとうございました。



本のリサイクル広場



ハードカバー教室



プラ板工作をしよう



フィルム
カバー講習



布絵本



おはなし会

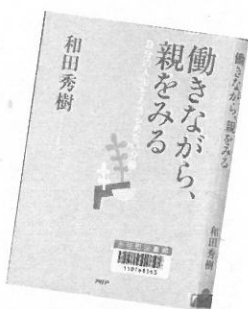


Book menu



東野圭吾／著

出版社：KADOKAWA
ジャンル：小説
(Fヒカ)



和田秀樹／著

出版社：PHP研究所
ジャンル：実用書
(369ワ)



風野潮／作

出版社：角川学芸出版
ジャンル：児童読み物
(K913カ)

『ラプラスの魔女』

『働きたがら、親をみる』

『桜石探検隊』

元警官の武尾は、ある謎の少女、円華のボディガードを依頼されます。彼女に質問をするとは一切禁じられていたため、彼女について何も知らないまま任務を遂行する武尾でしたが、やがて彼女の持つ不思議な能力に気がきます。時を同じくして、遠く離れた二つの温泉地で硫化水素による死亡事故が起きていました。事故現場へ検証に赴いた地球科学の研究者である青江は双方の現場で円華を目撃し、彼女が事件に何らかの関わりがあると考え、独自に調査に乗り出します。それぞれの温泉地で亡くなった二人の映画関係者の男性について調べを進めるうちに青江は、八年前に起きた硫化水素による少女の自殺の一件にたどり着くのですが、なんとその少女の父親もまた映画関係者だということばかり…。著者の作家デビュー三〇周年記念作品となる空想科学ミステリです。

この本は、長年、認知症や高齢者のうつ病の診療に携わってこられた老年精神科の医師が、だんだんと歳をとっていく親を持ち、ご自分も働いておられる方々にぜひ読んでもらいたいという思いで書かれた本です。本の中で著者は、親の介護は突然、予期せぬかたちでやってくる人が多い。85歳を超えると約半数以上の人が、何らかのかたちで要介護状態になる。その時、介護と仕事の両立を図るために、今のうちから介護に関するきちんとした情報をより多く持つことで、介護のために仕事を辞めることはかなり避けられると述べています。そして、介護サービスなどの各種制度や認知症の親との向き合い方など、介護と仕事を両立させるための基礎的な事柄が幅広く端的に書かれた一冊です。

剛は毎日のように近くの川原で石探しをしていて、いろんな石を集めています。中でも、こい赤色のシマもようの入った石が大好き。これはジャスパールという石だと鉱物に詳しい転校生のあずりが教えてくれました。このジャスパールをきっかけにして、グループに分かれて石探しの競争が始まります。剛のグループは、あずりと一郎、ルリの4人。石探しの場所はかまぼこ山に決めたのですが、ここはこわいというわさの川端のじいさんの山。そこで川端のじいさんに山へ入らせてほしいと4人はお願いにいきますが…。

最後にはあなたも、いろいろな石を探し
たくなるかもしれませんよ。(か)

「そうだ！司書さんにきこう！」

中町南小学校教諭 長井辛子

私は今年異動してきて、学校図書館の担当を任されました。けれど、私にとって初めての仕事で、何からすればよいか分からず、そこで図書館づくりの参考になる本はないかと、多可町図書館へ行きました。司書の方に尋ねると、すぐに関連の本棚へ。適切な本を数冊、あつという間に手渡してくださいました。「すごい……」あまりの早さに驚き、新鮮な感動を覚ええました。

その後、子どもたちの学習に必要な本を大量に借りたいと相談したときに

私のように、「忙しそうだから、声かけにくいな」とか、「こんな風にきいたらおかしいかな?」「もつと自分で探してみなきゃ」などと考えて、司書さんに声をかけたことのない方も意外と多いのではないでしょうか。そんなことを心配せずに、気軽に司書さんにきくのが、求める本と出会える一番の方法だと思います。そして、魔法の感動をぜひ味わってみてください。

これから私も、学校図書館で子どもたちが求める本を、求めたその時に、さつと手渡せる先生になりたいと思います。そのためには良い本をたくさん読まなくては!

また司書さんに相談しに行こうつと。

I .. ② II .. ③ III .. ① IV .. ①

又吉直樹の作品を
ご紹介します♪

カキフライ
無いなら
来なかった
せきしろ×又吉直樹

火 花

又吉直樹
又吉直樹
田中象画

鈴虫炒飯

芸人と
俳人
又吉直樹×堀江由樹

第2回
又吉直樹
又吉直樹

さか
ジープで
来るとは
せきしろ×又吉直樹

【小説】『火花』 Fマタ

ビブリンピック 7月18日～8月30日

今年も昨年に引き続き、小学生を対象に“本を読んでクイズに挑戦！”と“50冊読破！”を課題としたビブリンピックを実施しました。

自分で読んでクイズに挑戦することはもちろん、親子で寝る前に本を読んで一緒にお話を楽しみ、そのついでに答えを探するというご家庭もありました。今回の企画を通じて「長いお話でも読んでやると楽しそうに聞いてくれて意外な発見ができた。参加してよかった。」という親御さんの声もいただきました。1冊でもいいのでお気に入りの本にであってもらえればと思っています。

子どもと楽しむ本の世界

8月21日

芦田悦子先生を招いて読み聞かせ講座を開催しました。先生のテンポの良い、深くてももしろい(interestingとfunnyを兼ね備えた!)お話に、みなさん大きくうなづいたり大笑いしたり。読み聞かせをすることの意味や子どもたちがどのように捉えるのかなどについて「なるほど」と思うことがたくさんあったようです。

今年は1回
のみの講座で
したが大変充
実したものと
なりました。



図書館見学

中町北小学校3年生

9月3日

町内の施設めぐりの一環として来館。施設のこと、蔵書冊数のことなど

図書館の概要を聞いた後は館内見学をしました。図書館で所蔵している絵本の冊数(厚さを1cmとして)を積み上げるとおよそ180メートル。ポータタワーをはるかに超える高さになると説明するとみんな驚きながら聞き、メモをしていました。



おはなし会

子育てふれあいセンター

9月11日

乳幼児(2歳児)とその保護者の方16組が、子育てふれあいセンターの活動の一環として図書館に来館し、絵本の読み聞かせを体験しました。大型絵本やしかけのある小道具を使ったおはなし会に子ども達はとっても楽しそうに参加してくれました。



図書館 NEWS

— 7~9月 —

8月18日
～19日



今年の手作り絵本教室は、「ミラクル絵本づくり」。

この絵本は、絵を描いた上に透明なセロファンを当て、黒のマジックで下の絵をなぞります。絵とセロファンの間に白い紙を当て、下の絵を引っ張り出すと白黒の絵にぱっと色がついたように見えるのが特徴です。この講座には20名の子ども達が参加しました。最初、絵本のしくみがわからずとまどっていた子ども達。講師の村上祐喜子さんの丁寧なご指導で、最後はカラフルな絵本が出来上がりました。



就業体験

7月21～23日、
8月19～23日

7月21日～23日には多可高校の生徒2名が、8月19日～23日には篠山東雲高校の生徒1名が図書館業務を体験しました。書架の整頓、新聞整理、新刊本の棚出し、そしてカウンターでの貸出・返却業務などどれも真剣に取り組んでくれました。短い期間でしたが、この体験で感じたことを今後の学校生活で活かしてもらえればと思います。

本のショーウィンドウ

星野道夫作品フェア

7月19日～8月30日

松井小学校6年生の

児童が、国語学習の取り組みとして作成した「本のショーウィンドウ」を夏休み期間中、図書館で展示しました。写真家星野道夫さんのエッセイや写真集の魅力を多くの人に知ってもらおうとオススメコメントなどが記された作品が31点。多くの方にご覧いただきました。これからも図書館では学校や他の施設と連携しながら様々な取り組みをおこなっていきたくと考えています。



Book menu



高森美由紀／著

出版社:産業編集センター

ジャンル:小説
(Fタカ)

『ジャパニティグニティ』



まきりえこ／著

出版社:扶桑社

ジャンル:実用書
(379マ)

『小学生男子のトリセツ』



ジュリア・ジャーマン／作
スザン・バーレイ／絵

出版社:フレーベル館

ジャンル:絵本 (E/A)

『ラブリィ
オールドライオン』

美也子は津軽塗職人の父と弟の3人で暮らしています。父の漆塗りには、こだわりから通常よりも手間暇がかかるため、仕事も少なく生活は厳しい。美也子は生活費を助けるためスパーに勤めながら父の手伝いをしています。が、内気で人見知りをする性格からスパーを辞めてしまします。やがて「私、これを仕事にしたい」と本格的に漆塗りを始めることに。塗る作業はまず掃除から。一晩の内に塵やら小さい虫などが入ってきているので念入りに掃除し、それから道具の手入れが終わるとやっと塗りに取り掛かるといった繊細な作業です。父との関係も親方と弟子。今までは「手伝い」だったけど、これからは違う。これで生きていくんだと覚悟を決めます。そんなある日、弟がオランダの美術工芸品展に出品してみないかと話をもちかけ、美也子は津軽塗に魂を注ぎ込むことに。(か)

男の子の子育ての日々を綴る著者の人気ブログをまとめた爆笑の一冊。小学生の息子(おりえ)と父母の日常が四コマ漫画で描かれており、小学生の男の子をお持ちのお父さんお母さん、また子育てはもう終わったという方にも「男子あるある」をめいっぱい楽しんでもいただけます。水たまりをよける機能は付いていない。すべてのポケットになぜか砂が入っている。プリントはランドセルの中でアコーディオン状に圧縮加工されている。などなど、著者が挙げる男子の生息11項目だけ見ても思わずプツと吹き出してしまいます。何をしでかすか予測不可能で叱られることも多い反面、お母さん大好き「な精神構造。」「うちの子には手を焼くわあ」という嘆きは、裏返せば「うちの子がかわいいわあ」なのかも!?おバカがパワーアップした高学年版も併せてお楽しみください。(な)

レニーの大好きなおじいちゃんはやさしくてかきこい森の王様です。おじいちゃんはいつも王様らしく堂々としていましたが、この頃は物忘れがはげしく元気がなくなつて様子がおかしいのです。心配になつたレニーや森の動物たちは、カバおじいさんに相談しました。すると、カバおじいさんは「王様ライオンは年をとつて、体のあちこちがくたびれてきたんだよ。あたまの中もおんなじさ。だから、わすれんぼうになつたんだ」と言いました。それを聞いてレニーは「ぼく、いいことおもいついたよ!」とさげびました。認知症のおじいさんと孫との交流を描いた心温まる絵本です。(よ)

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

平成二十八年丙申、明けましておめでとうございます。旧年中は多可町図書館をご利用いただき、また、図書館主催の諸行事等にご協力いただき誠にありがとうございました。本年も職員一同図書館サービスの向上に努めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、お正月は、普段お仕事や学校で忙しい毎日を過ごされている方にとって、ゆつくりとできる数少ない時ではないかと思いますが、自分だけの時間となると、お正月と言えどもなかなか容易に作り出すことはできないものです。まして日常生活の中でとなると至難の業かもしれません。しかし、どのような人でも、自分だけの時間や空間をもつことは生きていくうえでとても必要なことです。忙しい毎日に追われて自分を見失いそうになっている時や落ち着いて考えることなく日々流れている時など、ちよつと立ち止まって自分を見つめ直すことで、心にゆとりができて周囲が見えるようになったり、進むべき正しい方向が見えてきたりすることもあります。そんなちよつとした自分の時間、言い換えれば自分一人になれる時間を作り出すには図書

館は最適な場所です。図書館だからといって何も本を読む必要はないのです。何も考えずに、ただ何となく窓から外の景色を眺めたり風の音に耳を傾けたりしていても誰も何も言わないのが図書館なのです。図書館にお越しになる方の多くが自分だけの時間をもつために来られているのです。毎日が忙しくてたまらない人こそ、ほんのわずかな時間で結構ですから図書館へお立ち寄りください。そして、一息ついてまた「現実」に戻られてはいかがでしょうか。多可町図書館は、皆様の『暮らしに役立つ図書館』そして『居心地の良い図書館』をモットーに今年も頑張つてまいります。

「図書館で自分だけの時間を」

多可町図書館長 藤田 喜晴



ことばの葉だより

実現不可能といわれた事業を
次々に成功させた一代の女傑
広岡浅子 編

幕末の動乱期、1849年、浅子は京都の豪商「三井家」に生まれます。17歳の時、かねてから縁組の決まっていた大阪の老舗両替商「加島屋」の息子、広岡信五郎の元に嫁ぐのですが、まもなく、世の中は大きな変革期を迎えます。明治維新。加島屋も例にもれず時代の渦にのみこまれていきます。しかし、そこで、じっと黙って見ているような浅子ではありませんでした。大名屋敷に乗り込んで貸付金の回収に回ったり、また、東京におもむいて金策に走ったりと次々と改革に乗り出します。けれども幕末の動乱期の中で作った借金の痛手からはなかなか回復できるものではありません。そこで加島屋が乗り出したのが炭鉱経営でした。

その後、銀行業、保険業、さらには日本で初めての女性のための大学、日本女子大学校(現:日本女子大学)の設立など、立ち止まることなく次々と事を成し遂げていきます。

明治の時代にはまだまだ女性の社会進出は珍しく、慣習や法律でも厳しく制限されていました。そんな時代でありながらも、浅子は周りの人に支えられ、そして、自分の信念を貫き通す強い意志をもって生き抜きます。そんな爽快なまでにまっすぐな姿勢や力強い言葉はいつしか多くの人々の心を動かし、社会を動かしていく力になります。この機会にそんな彼女の生きざまに少し触れてみませんか。朝ドラもいよいよ後半戦。見どころ満載です。



ふくちゃんのウインク

今まで西脇市図書館で借りた本を多可町図書館で返したり、多可町図書館の本を西脇市図書館で返したりすることができました。さらに1月19日からは北播磨3市1町(加西市、加東市、西脇市、多可町)の図書館で借りた本を、この3市1町の図書館でしたらどこでも返却できるようになります。(あくまで預かりサービスですのですぐにデータには反映されません)

詳しくは広報をご覧ください。今年も暮らしに役立つ身近な図書館を目指して頑張ります。(け)

【こたえ】 I...③ II...②
III...① IV...② V...④

人生においては、断崖絶壁をよじ登るかのような、危険きわまりない道を歩かねばならない時もあります。(中略) 試練は学びのチャンス。もし失敗をしてしまったとしても、それは必ず次への肥やしになります。 — 『一週一信』より —

広岡浅子さんに関するクイズです。

- I. 現代まで続く加島屋の事業として保険事業があります。何という保険会社でしょう。
- ①住友生命 ②富国生命
③大同生命 ④第一生命
- II. 浅子が開いていた勉強会に参加した人物は
- ①与謝野晶子 ②村岡花子
③林芙美子 ④柳原白蓮
- III. 浅子の夫、信五郎が発起人として名を連ねた尼崎紡績の現在の社名は?
- ①ユニチカ ②カネボウ
③シキボウ ④東洋紡
- IV. 多くの銀行が立ち上がり始めたころ「銀行の神様」と異名をとる人物がいました。それは誰?
- ①五大友厚 ②渋沢栄一
③高橋是清 ④松方正義
- V. 浅子の座右の銘は
- ①六転七起 ②七転八起
③八転九起 ④九転十起

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『広岡浅子という生き方』(洋泉社)、
『広岡浅子逆境に負けない言葉』(イースト・プレス)

思わず手にとる! 本の帯作り大作戦

松井小学校の4年生のみんなが、国語学習の一環として、科学読み物の楽しさを伝えようと「本の帯」を作ってくれました。帯には思わず手にとりたくなるようなキャッチコピーとわかりやすい補足説明などが書かれています。

本だけでは敬遠されがちな科学読み物ですが、帯をつけることによって、親しみのある本に変身しました。12月12日から1月中旬くらいまで図書館内に展示予定です。ぜひ、手に取ってご覧ください。もちろん、これらの本を借りていただくこともできますので、みなさんのご来館をお待ちしています。



ストーリーテリング講座

11月27日～(全4回)

8月に開催した読み聞かせ講座に引き続き、芦田悦子先生を講師にお迎えし、全4回の講座がスタートしました。第1回目は「絵本やおはなしの楽しみを子ども達に」と題してお話をうかがいました。子ども達は繰り返しでてくるおはなしを好むこと、そして子ども達は自分が主人公になっておはなしを聞きいているので最後はハッピーエンドになるものを選んでほしいと語られ、受講生は熱心に先生の話に耳をかたむけていました。



広報でもお知らせしていましたが、9月17日からメールマガジンの配信サービスを開始しました。メールマガジンにお気に入りの作家名やジャンルのキーワードなどを登録いただくことで、該当する本が図書館に入荷すると定期的(毎週土曜日配信)に新着情報メールが配信されます。

メールマガジンの利用登録はパソコン、スマートフォン、携帯電話から行うことができます。登録料は無料。

ただし、メールを受け取るには事前に図書館カードとパスワードの発行が必要となります。

詳しい登録方法は図書館のカウンターにチラシを置いてありますのでそちらをご覧ください。図書館のホームページをご覧ください。



たくさんの児童・園児が来館してくれました!

- 12/2 八千代南小学校1年生
- 12/2 キッズランドかみ(そら組)
- 12/3 キッズランドかみ(うみ組)
- 12/16 松井小学校4年生
- 12/17 八千代西・北小学校1年生

毎年、この時期は多くの児童・園児が来館し、図書館見学やおはなし会、そして好きな本を選び出して貸出手続きするなど、図書館での時間を楽しんでくれています。今年はさらに例年を上回るたくさんの方に来館いただきました。

来館いただくことはもちろん、依頼のあった学校園にはおはなしサークル「あいあい」のみなさんが学校へ出向きおはなし会を実施しています。どんどん活用してくださいね。

以下のアドレスから登録してください。

(パソコン・スマートフォンの方)



QRコードからアクセス

<https://www.lib017.nexs-service.jp/taka/MailMagazine/mailmag.html>

(携帯電話の方)



<https://www.lib017.nexs-service.jp/taka/MailMagazine/public/mobile/mailmag.jsp>



QRコードからアクセス



Book menu



鈴木光司/著
出版社:小学館
ジャンル:小説
(Fスス)

高畑水輝は、全国有数のダイビングスポットとして知られる和歌山県串本町で、ダイビングのインストラクターをしている30歳目の独身女性。5月のある日、水輝が働くダイビングショップにトルコの青年ギユスカンがやってきて、大島沖でのダイビングのガイドを依頼します。なんでも彼の祖先が125年前に串本沖で遭難したトルコの軍艦エルトゥール号に乗っていた、救助された数少ない乗組員の一人、彼はどうしても捜しだしたいものがあるというのです。一方、高畑水輝の祖先は、その遭難事故で乗組員の救助に家族総出で奔走していたのです。125年の時を超えて不思議な糸で引き寄せられた二人がバディを組んで遭難現場の海に潜るのですが、125年前の危機と、今まさに二人の身に起こる危機とがクロスして迫ってくる感動の海洋小説です。(よ)



大石久和/著
出版社:産経新聞出版
ジャンル:実用書
(361才)

グローバル化が求められる昨今ではありますが、日本人の価値観を捨てて、日本人が欧米人の構築した波に同じように乗ろうとしても、なかなか太刀打ちできません。日本人が世界で活躍するためには、日本人とはどういった民族なのかを知ることが重要になるのです。それにしても、日本人はなぜここまで世界の人々と違うのでしょうか。そんな疑問に答えてくれるのがこの本です。例えば日本では、地理的条件から台風や地震などのさまざまな自然災害が起こり、築き上げてきたものが一瞬にして壊されるといった歴史が繰り返されてきました。そこから「変わることを尊ぶ日本文化が生まれてきたのです。このように、何を経験し、何を経験しなかったかで、他の国々とは違った文化が育まれてきました。良い、悪いとかではなく、私達日本人を客観的に見つめることができる一冊です。(か)



クリアー/作
出版社:学習研究社
ジャンル:児童読み物
(K933ク)

ヘンリーは、アメリカのどこにでもいる小学3年生の男の子です。ある水曜日のスイミングの帰り、ヘンリーはあばら骨がすけて見えるほどにガリガリにやせこけた犬を拾います。どうしてもその犬を飼いたいと思った彼は、家で待つ母親を電話で説得し、バスに乗せて連れて帰ることに。ところが犬がバスの中で急に暴れたことから大変!それ以来、ヘンリーのまわりでは次々にゆかいな事件がおこります。40年以上も前に書かれたお話ですが、現在の子どもたちにも通じるところがあり、大人が読んでも楽しめる作品です。小学校中学年の読み聞かせにもオススメです。(な)

『ブルーアウト』

『国士が日本人の謎を解く』

『がんばれヘンリーくん』